

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2019-213934(P2019-213934A)

【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2019-165731(P2019-165731)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行に応じた演出音とを出力する音出力手段と、

前記音出力手段から出力される音を、前記主制御手段から受信したコマンドにもとづいて制御する音制御手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な第1音量調整手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な、前記第1音量調整手段とは異なる第2音量調整手段と、

を備える遊技機において、

前記第1音量調整手段と前記第2音量調整手段のうち、前記第1音量調整手段は、遊技者が操作することができない調整手段とされ、

前記音制御手段は、複数の音設定部を有し、

前記複数の音設定部には、前記第2音量調整手段の操作に応じて音量変更が可能な演出音データと、前記第2音量調整手段の操作に応じて音量変更が不可能な報知音データとが個別に設定され、

前記複数の音設定部のうち前記演出音データが設定される音設定部に、前記第1音量調整手段の操作に応じた所定の第1音量値が設定され、

前記複数の音設定部に設定された音データを合成する合成手段と、前記合成手段により合成された後の第2音量値を設定する合成音量値設定手段と、を備え、

前記第2音量調整手段の操作に応じて前記音設定部における前記第1音量値が更新可能とされ、

所定の初期化条件が成立したときに、前記更新された前記音設定部の音量値を、前記第1音量調整手段の操作に応じた第1音量値とし、

前記合成音量値設定手段で設定された音量に基づいて前記音出力手段から出力されることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(解決手段1)

遊技の進行を制御する主制御手段と、

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行に応じた演出音とを出力する音出力手段と、

前記音出力手段から出力される音を、前記主制御手段から受信したコマンドにもとづいて制御する音制御手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な第1音量調整手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な、前記第1音量調整手段とは異なる第2音量調整手段と、

を備える遊技機において、

前記第1音量調整手段と前記第2音量調整手段のうち、前記第1音量調整手段は、遊技者が操作することができない調整手段とされ、

前記音制御手段は、複数の音設定部を有し、

前記複数の音設定部には、前記第2音量調整手段の操作に応じて音量変更が可能な演出音データと、前記第2音量調整手段の操作に応じて音量変更が不可能な報知音データとが個別に設定され、

前記複数の音設定部のうち前記演出音データが設定される音設定部に、前記第1音量調整手段の操作に応じた所定の第1音量値が設定され、

前記複数の音設定部に設定された音データを合成する合成手段と、前記合成手段により合成された後の第2音量値を設定する合成音量値設定手段と、を備え、

前記第2音量調整手段の操作に応じて前記音設定部における前記第1音量値が更新可能とされ、

所定の初期化条件が成立したときに、前記更新された前記音設定部の音量値を、前記第1音量調整手段の操作に応じた第1音量値とし、

前記合成音量値設定手段で設定された音量に基づいて前記音出力手段から出力されることを特徴とする遊技機。